

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-58	高等学校	国語	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	論国 702	精選論理国語		

## 1.編修の基本方針

### ①言葉による見方・考え方を働かせ、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

- ・各単元扉に、その単元での学習目標を示すとともに、教材ごとに学習する主な目標も示しました。また、読解教材の「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・「探究編」に言語活動教材を配置し、その活動と読解教材との関連を図ることで、「書く」「読む」の学習が、有機的・効果的に行えるようにしました。

### ②論理的思考力や伝え合う力を育み、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。

- ・論理的思考力を身につける教材として、文化・社会・科学などの分野の評論をバランスよく採録、配置しました。
- ・「論理の力」と題した教材を新設し、論理的思考力を養うための学習を重点的に行えるようにしました。更に、読解教材の「学習の手引き」に設けた「論理の力」の課題から、「論理の力」の教材にリンクさせ、関連づけて扱えるようにしました。
- ・言語活動教材の学習過程や、読解教材の「学習の手引き」に設けた「言語活動」の課題において、話し合ったり、書いたものを読み合ったりする活動を取り入れることにより、「書く」「読む」の学習の中で伝え合う力を養えるようにしました。
- ・「言葉のトレーニング」と題した教材を新設し、多様な内容・形態の文章を読んで考える力を養う学習が行えるようにしました。

### ③教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

- ・「論理の力を鍛えよう」や「文章を読み比べるために」、「図表の読み取り方」といったコラムでは、論理的な考え方や文章・図表の読み解き方について、分かりやすく示しました。
- ・「思考への扉」と題したコラムのシリーズでは、読解教材本文と関連づけながら、考えを深めるための切り口を提示しました。
- ・附録には、「評論読解へのアプローチ」「論文・レポートの種類と構成」「思考ツール」といった資料を用意し、多様な学習に対応できるようにしました。
- ・読書に親しみ教養を高めるために、「読書案内」を附録に掲載し、掲載教材に関連するテーマの図書を紹介しました。
- ・附録に掲載した「この教科書で学ぶこと」では、「書くこと」「読むこと」の各教材について、どんな事項を学習するのかを一覧で示し、学習の見通しや振り返りに生かせるようにしました。

## 2.対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
I 部	1 発見への誘い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書の実践を通して、知りたいと思わせる何事かに次々に会うことができる と論じる評論を用意しました。(第1号)</li> <li>・ミロのヴィーナスの鑑賞を通して、そこに普遍的な美を感じる理由を考察する 評論を用意しました。(第1号)</li> </ul>	→8～13ページ →14～20ページ
	2 言語と認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相対的な自己把握をするという特徴を持つ日本語と、日本人の持つ自我の 構造についての関係を考察する評論を用意しました。(第5号)</li> <li>・事実を観察するという行為は、観察時の状況や観察者の持つ背景知識によ って左右されることを述べる評論を用意しました。(第1号)</li> </ul>	→24～33ページ →34～40ページ
	3 人間を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「分人」という概念をもとに人間関係の在り方を考察し、「私」という存在は常に 他者との相互作用の中にあると述べる評論を用意しました。(第3号)</li> <li>・「キャラ」という観点から現代の人間関係の在り方を論じ、自らの単独性を得る ためにはリアルな人間関係を歩んでいくしかないと述べる評論を用意しまし た。(第3号)</li> </ul>	→42～51ページ →52～60ページ
	4 学問のまなざし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「リスク」は自由のもとで決定がなされる場面では常に存在すると述べ、私たち の社会に不安が満ちているのは近代という時代の根本的な性質に原因があ るとする評論を用意しました。(第1号)</li> <li>・「環境」は常に何者かにとっての「環境」であるという認識から出発し、環境問 題の捉え方について再考する評論を用意しました。(第4号)</li> </ul>	→64～72ページ →73～82ページ
	5 社会を捉え直す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「する」価値と「である」価値という原理が、日本社会の諸問題を分析するうえ で有効であることを述べる評論を用意しました。(第3号)</li> <li>・スポーツとメディアの関係を通して、社会におけるスポーツの在り方を考察する 評論を用意しました。(第1号)</li> </ul>	→84～97ページ →98～107ページ
	6 イメージを読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の伝統的で独自の美への感受性が、現代の我々の生活や行動に生 き続けていることを述べる評論を用意しました。(第5号)</li> <li>・中世ヨーロッパで作られた地図を例に挙げながら、地図とは、異なる世界像を 持つ人々の、世界に対する異なる理解を表現していると述べる評論を用意し ました。(第1号)</li> </ul>	→110～123ペー ジ →124～130ペー ジ
	論理の力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「論理」とは何かということについて学び、論理的な思考をする態度を養う教材 を用意しました。(第1号)</li> <li>・接続表現の意義と使い方を学び、文章の論理的関係を適切につかむ力を養 う教材を用意しました。(第1号)</li> <li>・論証の説得力を「根拠」と「導出」という観点から分析し、適切に論証を把握 する力を養う教材を用意しました。(第1号)</li> <li>・文章の「問い」と「答え」の構造に注目し、「答え」に当たる中心的主張を適切 に取り出す力を養う教材を用意しました。(第1号)</li> <li>・質問することの意義や質問の種類を学ぶことを通して、適切に質問する力を 養う教材を用意しました。(第1号)</li> </ul>	→134～135ペー ジ →136～141ペー ジ →142～145ペー ジ →146～149ペー ジ →150～154ペー ジ
II 部	1 言葉を再考する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字やフランス語を学んだ体験などから、異なる言語を行き来することにつ いて考察する評論を用意しました。(第5号)</li> <li>・言葉によって世界が分節され、事物が生み出されることから、言葉が私たち の意識を形成し、世界を創造する根源となると論じる評論を用意しました。(第1 号)</li> </ul>	→156～163ペー ジ →164～171ペー ジ

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
2 近代という時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代科学の自然観には、生態系の維持と保護に反する発想が含まれており、それによって環境問題は生じてきたと述べる評論を用意しました。(第4号)</li> <li>現代社会を生きる私たちは、異世界を知ることによって現代社会の「(自明性の檻)」から解放され、新しい社会をつくる可能性を探ることができる」と説く評論を用意しました。(第1号)</li> </ul>	<p>→174～181ページ</p> <p>→182～191ページ</p>
3 メディアを問い直す	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間と情報の関係が大きく変化した現在、かつて本が担っていた機能を更新させる方法を考えなければならないと述べる評論を取り上げ、更にテーマの関連する評論を2本用意しました。(第1号)</li> </ul>	<p>→194～208ページ</p>
4 他者のいる思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>原始社会においても、環境への負荷に対する対応を誤り深刻な結果をもたらされた例などを挙げて、原始社会をありのままの姿で捉える必要性を説く評論を用意しました。(第4号)</li> <li>ロボットが意志を持つと言えるためには、行動を決定する仕組みがブラックボックス化され、「迷う」ロボットでなければならないと述べる評論を用意しました。(第1号)</li> </ul>	<p>→210～217ページ</p> <p>→218～230ページ</p>
5 困難な時代に	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会・文化が壊れないためには、民主制と立憲制という理念、そしてそれを下支えする寛容の精神、煩雑さへの耐性といったものが求められることを述べる評論を用意しました。(第3号)(第5号)</li> <li>フィクションは情報伝達における分業の在り方を描いていると述べ、情報技術の発展がフィクションにもたらす影響を論じる評論を用意しました。(第1号)</li> </ul>	<p>→232～240ページ</p> <p>→241～251ページ</p>
6 自己と社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールゲームのゴールの数とルールの違いから近代資本主義の変容について論じる評論を用意しました。(第1号)</li> <li>他者に対する暴力は人間が持つ虚栄心に起因するとして、欲望的存在である自己の在り方を変容させる倫理的努力が必要であると説く評論を用意しました。(第2号)(第3号)</li> </ul>	<p>→256～271ページ</p> <p>→272～281ページ</p>
探究編	<ul style="list-style-type: none"> <li>裁判員制度を題材として取り上げ、集めた資料を整理する活動を通して、社会の一員としての自覚を促す教材を用意しました。(第3号)</li> <li>高校生の読書量をテーマに、仮説を立てて検証する活動を通して、読書習慣を振り返る契機となる教材を用意しました。(第1号)</li> <li>メディアの比較を題材として取り上げ、論文を執筆して議論する活動を通して、主体的に議論を形成する力を養う教材を用意しました。(第3号)</li> <li>エコカーの普及を題材に、資料を活用して論述する活動を通して、気候変動への対策を考える教材を用意しました。(第4号)</li> </ul>	<p>→284～291ページ</p> <p>→292～299ページ</p> <p>→300～305ページ</p> <p>→306～313ページ</p>
言葉のトレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物学の論文についての解説記事を題材として、探究した成果を筋道立てて分かりやすく伝える方法について考える教材を用意しました。(第1号)</li> <li>地方都市の人口推移を統計資料をもとに論じた文章を取り上げ、資料に基づいて筋道立てて論じる方法を考える教材を用意しました。(第1号)</li> <li>段落分けの機能を論じた文章を取り上げ、意図が適切に伝わる段落分けの方法について考える教材を用意しました。(第1号)</li> <li>「やさしい日本語」という概念を題材として、誰にでも分かりやすい表現の在り方を考える教材を用意しました。(第3号)</li> </ul>	<p>→330～335ページ</p> <p>→336～343ページ</p> <p>→344～353ページ</p> <p>→354～362ページ</p>

### 3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○将来の進路の選択や、一般的な教養を高めることに資するよう、教材の中で多様なテーマを取り上げるとともに、読書案内を掲載して読書へといざなうように配慮しました。(学校教育法第51条2号)

○社会人として必要とされる国語の能力の基礎を身につけることができるように、言語活動教材において、社会生活の中からテーマや課題を設定し、調べたことを多角的に検討して考えを深め、分かったことや考えたことを文章にまとめる学習を多く取り上げました。(学校教育法第51条3号)

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-58	高等学校	国語	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	論国 702	精選論理国語		

## 1.編修上特に意を用いた点や特色

### ①目標

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成するという「目標」を踏まえ、「内容」に示された「知識及び技能」の3事項と「思考力、判断力、表現力等」の2領域の学習が効率的・有機的に行えるようにするとともに、「学びに向かう力、人間性等」を十分に養うことができるように配慮しました。

### ②「知識及び技能」

- ・漢字および語彙については、読解教材の脚注欄に「注意すべき語句」を示したり、「学習の手引き」の後に「漢字と語彙」の問題を掲載したりすることで、意識的・継続的に学べるようにしました。
- ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするための語句を学べるよう、コラム「思考への扉」(5か所)や、附録「評論読解へのアプローチ」を掲載しました。
- ・「論理の力」と題した教材を新設し、情報と情報との関係や情報の整理を含め、論理に関する内容を重点的に学べるようにしました。
- ・新たな考えの構築に資する読書へのいざないとして、単元扉で掲載教材に関連する本のタイトルを示し、附録の「読書案内」でそれらの本をまとめて紹介しました。

### ③「思考力、判断力、表現力等」の「A 書くこと」

・資料の概要をまとめたり、意見文や短い論文を書いたりする言語活動教材を用意するとともに、読解教材との相互関連を図りました。

### ④「思考力、判断力、表現力等」の「B 読むこと」

- ・教材については、「3 内容の取扱い」(3)アの観点に示された事項に留意して選定しました。
- ・「言葉のトレーニング」と題した教材を新設し、さまざまな種類の文章を読み、考える力を養うことができるようにしました。
- ・文章の読み比べについて取り立てて学べるよう、コラム「文章を読み比べるために」を用意するとともに、読み比べに適した複数の評論教材を掲載しました。

## 2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁	配当時数			学期	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		書	読	計		
			書くこと						読むこと
<b>I 部</b>									
1 発見への誘い	いつもそばには本があった	(1)ア, イ, ウ(3)ア		(1)ア, エ, カ/(2)ア	8		2	2	1 学期 24
	ミロのヴィーナス	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, エ	14		2	2	
	■論理の力を鍛えよう	(2)ア		(1)エ	21				
	【論理の力】論理とは何か	(2)ア, イ, ウ		(1)ウ, エ	134		1	1	
2 言語と認識	相手依存の自己規定	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, エ, キ/(2)オ	24		2	2	
	【論理の力】質問する力	(2)ア, ウ		(1)エ, カ	150		2	2	
	科学的「発見」とは	(1)ア, イ, ウ		(1)イ, カ	34		2	2	
	【論理の力】要約する力	(2)ア, イ		(1)ア, エ	146		2	2	
	【探究編】資料を整理し, テーマを吟味する	(2)ア, イ	(1)ア, エ, オ/(2)ア		284				
■探究学習へのアプローチ	(1)ア	(1)ア		314	11		11		
3 人間を見つめる	分人とは何か	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, オ, キ	42		2	2	
	【論理の力】つなげる力	(1)ウ/(2)ア		(1)ア, エ	136		2	2	
	メディアの変容	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, オ, キ/(2)エ	52				
	■文章を読み比べるために	(2)ウ		(1)ウ, エ, キ/(2)エ	61		4	4	
4 学問のまなざし	「リスク」と「リスク社会」	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, カ, キ/(2)イ	64		3	3	
	「環境」とは何か	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, カ, キ/(2)ウ	73		2	2	
	【探究編】仮説を立てて検証する	(1)エ/(2)ア, ウ/(3)ア	(1)ア, エ, オ/(2)イ		292	14		14	
	■図表の読み取り方	(2)イ	(1)ア		318				
【言葉のトレーニング】地方都市を考える	(1)ウ, エ/(2)ア, ウ	(1)ア, イ, ウ/(2)ア		336		1	1		
5 社会を捉え直す	「である」と「すること」	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, エ	84				
	思考への扉1 実在論vs.唯名論	(1)イ		(1)カ	108		5	5	
	消費されるスポーツ	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, カ/(2)ア	98		4	4	
6 イメージを読む	日本人の美意識	(1)ア, イ, ウ		(1)イ, オ/(2)ウ	110		5	5	
	地図の想像力	(1)ア, イ, ウ		(1)イ, オ/(2)イ	124				
	■図像を読み解くために	(1)ア		(1)イ	131		4	4	
								3 学期 18	

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁	配当時数			学期	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		書	読	計		
			書くこと						読むこと
<b>Ⅱ部</b>									
1 言葉を再考する	混じり合う言葉	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, エ	156		2	2	1 学 期 24
	思考への扉2 言語的相対論	(1)イ		(1)カ	172				
	言語と記号	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, エ	164		2	2	
	【言葉のトレーニング】やさしい日本語	(1)ア, ウ/ (2)イ		(1)ア, エ, オ/(2)ア	354		1	1	
2 近代という時代	環境問題と孤立した個人	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, エ	174		2	2	
	【探究編】資料を活用して論述する	(1)エ/(2)ア・イ	(1)ア, イ, オ(2)エ		306	14		14	
	■引用の方法	(1)ウ, エ	(1)ウ, オ		324				
	【言葉のトレーニング】へびににらまれたカエルの生き残り戦略	(1)ウ, エ/ (2)ア, ウ		(1)ア, イ/ (2)ア	330		1	1	
	鏡の中の現代社会	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, エ	182		2	2	
	思考への扉3 時代の幕開け	(1)イ		(1)カ	192				
3 メディアを問い直す	おじいさんのランプ	(1)ア, イ, ウ(3)ア		(1)ア, オ, キ/(2)エ	194		2	2	
	【論理の力】論証する力	(2)ア, ウ		(1)ウ, カ	142		2	2	
	書物の近代	(1)ア, イ, ウ(3)ア		(1)ア, オ, キ/(2)エ	202		2	2	
	読み書きする身体	(1)ア, イ, ウ(3)ア		(1)ア, オ, キ/(2)エ	206		2	2	
	【探究編】社会的な話題に関する文章を読み, 短い論文を書く	(1)エ/(2)ア/(3)ア	(1)ア, ウ, カ(2)ウ		300	11		11	
	【言葉のトレーニング】つながりとしての段落	(1)ウ, エ/ (2)イ		(1)ア, エ/ (2)ア	344		1	1	
4 他者のいる思考	原始社会像の真実	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, カ	210		4	4	
	ロボットは意志を持つか	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, ウ, カ/(2)ウ	218		4	4	
5 困難な時代に	社会の壊れるとき——知性的であるとはどういうことか	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, ウ, キ/(2)イ	232		5	5	
	思考への扉4 アポリア	(1)イ		(1)カ	254				
	虚実の間に	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, オ	241				
	[参考]徒然草・虚実皮膜論	(1)ア		(1)ア, オ	252		5	5	
6 自己と社会	サッカーにおける「資本主義の精神」	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, ウ, エ	256		5	5	
	思考への扉5 刺激的考察	(1)イ		(1)カ	282				
	抗争する人間	(1)ア, イ, ウ		(1)ア, ウ	272		3	3	
(Ⅰ部・Ⅱ部)合計						50	90	140	